

は、英語が全く通じずどうしていいかわかりませんでした。しかし、過ごす時間が増えていくにつれ言葉がちょっとずつ理解できるようになり最終日には会話が普通に出来るようになりました。

僕はこの2つの経験から住む国や使われている言葉が違っても時間をかけることによりお互いの意思が通じ合うことが分かりました。これからはALTの先生にも英語でスムーズに会話できるように頑張りたいです。



買っていました。学校では12時と2時に食事の時間がありました。生徒は弁当でした。パンやお菓子を持って来ていました。

習慣は違っていましたが、ケアンズの方はとてもフレンドリーで話しやすかったです。私も覚えていた英単語を一生懸命に使いました。ホームステイ先の6歳と8歳の子供たちとすぐに仲良くなることができ、一緒にゲームやオモチャで遊んでとても楽しかったです。

今回の事業に参加して、ホームステイ先で出会った家族や学校で出会った人たちとの思い出を大切に、忘れないようにしたいです。

大切なのは 違いを受け入れること

由岐中学校 知賀 七葉

ケアンズで1週間すごして、日本との違いをたくさん見つけることができました。1番驚いたのは水をとんでも大切にすることです。お風呂はシャワーのみでした。食器洗いやトイレの水洗の時も節水していました。水道の水はヌメリがあり飲みにくいので、水を



自分から積極的に

由岐中学校 神野里緒

私は、今回の事業で性格を少しだけ変えることが出来ました。オーストラリアに行く前までは、私は内気で人見知りなので、ホームステイ先や学校でちゃんとコミュニケーションをとったり自分の気持ちをしっかりと表現できるか不安でした。

しかし、ホームステイ先や学校で会う人たちは、みんな親切で面白くてあたたかい人たちがばかりでした。だから



不安な気持ちはずいぶん無くなって、壁を作らずに自分から勇気を出して話しかけてみたり、気持ちを伝えたいときにちゃんと表現することがしつかりできました。

日本に帰って来てからも、友達に自分から話しかけたり、



相手に伝わるように自分の気持ちを表現したりすることが少しだけできるようになりました。今回この事業に参加できて本当によかったです。この事業で学んだことをちゃんとこれからの生活に活かして頑張りたいです。

グローバル人材 育成事業に参加して

由岐中学校 橋本 祐

出発前日、早く行きたい気持ちと向こうに行ったらちゃんと英語を話せるかなという不安な気持ちが入り交じり複雑でした。しかしケアンズに着くと現地のの方は、すごくやさしくフレンドリーで、すぐ雰囲気になじめました。



ホームステイでは、ダイクソンさんの家でお世話にな